「日本文化探求の旅」

専門家を招き体験活動

11月16日、札内南小学校の６年生（78人）が「日本文化探求の旅」をテーマに外部講師を招き、茶道や水墨画などの体験活動を行いました。

▼日本食の特徴を学ぶ子どもたち

▼花火づくりを模擬体験

6つのテーマを選択

札内南小学校の6年生は「総合的な学習の時間」を利用し各自が探求したいテーマを選択し体験的な活動を通じて日本文化に触れました。

茶道・俳句・日本画・お琴・花火・日本食の6つの探求課題（テーマ）を設定し、それぞれに町内から外部講師がかけつけ、子どもたちに指導しました。

心に残る貴重な体験

茶道体験で子どもたちは、花の模様が描かれた菓子を味わい、隣の人に「お先に頂戴いたします」と声を掛け、茶わんの持ち方に気を配りながらお茶をいただいました。

茶道を体験した古田彩乃さんは「日本文化は静かなイメージがあったので、茶道を楽しんだ。抹茶は思ったより苦なかった」と話していました。

花火作りで子どもたちは、2つの半球を合わせることに悪戦苦闘。やっとの思いで全員が花火を完成させました。最後は本物の花火をグラウンドで打ち上げて、大きな歓声を上げていました。指導した小宮則夫さんは「子どもたちには、物を作ることの難しさを体験してほしかった。考える力を身につけるのに良い授業だと思う」と感想を語ってくれました。

▲水墨画範士から直接指導

▲茶道の作法を学ぶ子どもたち

札内南小学校 今昔物語

▲旧白人小学校の仮校舎で開校式を開催

▲現在の札内南小学校

帯広市に隣接する札内地区の人口は、宅地行政の効果などから急激に増加しました。白人小学校では、増え続ける児童を一時的に札内スポーツセンター（旧白人中学校）を使用して急場をしのぎました。

昭和53年に白人小学校では25学級となることが見込まれ、新しい小学校が札内中学校の南側に新設されることになりました。

校名は「札内南小学校」となり、札内南小学校の学級数が12学級となるように次の地区を通学区域と定めました。

【桂町・泉町・あかしや町・文京町・若草町・中央町2、堤町の線路から南側・依田・西和・昭和・日新1】

昭和54年、新校舎が完成し、引越しの際には、移転をより有意義なものとするため、全校生が自分の座る椅子を新校舎まで運びました。

札内南小学校の沿革など

1978年（昭和53年）旧白人中学校校舎を仮校舎として札内南小学校が開校
1978年（昭和53年）校章・校歌を制定
1979年（昭和54年）現在の位置に新校舎が完成し、校舎落成式を開催
1987年（昭和62年）開校10周年記念式典開催
2007年（平成19年）開校30周年記念式典・記念夏祭り開催

南小を囲む六角形は、六つの学年を、ペンは勉学を表しています。六つの学年が手を結び、仲良く勉学にいそしむ姿を求めてデザインされたものである。（考案者：川前正男）

学校概要

学校長　水野　豊昭
教員数　34人
学級数　24学級
（うち支援学級　7学級）
児童数　564人

※概要は平成24年5月1日現在